

日刊 一發行兼編輯人 川崎文治 本社下田番地(電話六三〇番) 印刷所 常盤毎日印刷所

定部金貳錢 一ヶ月五錢 三ヶ月一圓二角 半年二圓 一年三圓 廣告費 五字一行 一日一錢 五字一行 一日一錢 印刷費 五字一行 一日一錢

六月二十七日夕刊

常盤文藝 短歌

ふたば

◇ 大空のきわまりもなく變り行く色ざりを見て悲しさを知る

◇ 思ひ出は七つの色に書かなむ 草紅の色は君思ふ色

◇ 青き星を一つ取りて君が手に捧げまへらせんと思ふ宵かな

◇ 姉のごとさとし言葉を言ひながら 館屋の旗の赤さに見える

◇ もへさかる夕陽も落ちてしみてくると大天地に夕ふかみ行く

◇ 黒と白の線をば引きて夕立の晴れたる後は夏めき渡る

◇ 我いまだ孫らしうふるまひもせぬ 祖父君の目病むと聞けば涙ながるゝ

◇ 歎かひば思ひなすことみな悲しあじさい變る君が心も

◇ ものなべて我をさげすむ心地して 或夜の我のわびしき心

◇ 巡禮の悲しき母子よ 今日もまた初夏の街を鈴ふりし來ぬ

◇ 思ひ出は悲しきものぞ 今日もまたビエローと共にすゝり泣かるゝ

◇ 砂文字のあはれはかなさかしまるゝ

悲しさよ心を横切るまぼろし 似る

◇ 川端の其の夕暮の色と共に君の姿を畫きて見せよ

◇ こみぎりの川の夕はなつかしものよ 君とかたればさらになつたか

◇ そむきたる友人のごとしみくゝと思ひ出されて今宵ねむれず

◇ かきさこの君がたよりにふとシミシインクの色に心みだるゝ

◇ 窓により月に語れりし じみと私の心を此のかなしみ

◇ 苗代の青き夕べはさながらにミレーの畫に似てなつかしまるゝ

修繕ト鍍金
扇風機 電動機 變壓器 諸器の鍍金及つやだ

右最も親切丁寧迅速に尙御通知次第出張致します
平町七丁目

正金商會

涼しい御召物の御照會

◇ 麻小紋の宣傳
優美高尚着心地よく而かも染色堅牢と大好評

◇ 新館階上陳列
涼しい縞中形 軽い夏帯

豊富に取揃へてあります是非御高覧の榮をお待ちして居ります

三井呉服店
平町三丁目 電話三十八番

婦人洋傘 麥帽各種
ワイシャツ

女學生用日傘ト雨傘 通學用ノ防水マント

平町四丁目 ツルヤ商店 電話百四十番

南部鐵瓶 日掛 御便宜ニ致シマス
ホーキ 爐カギ 各種...ナ作デス
南町廿九番地 南部屋

販賣員募集

新舞子漁遊會々員募集

會費五拾錢 (自動車往復 投舟地引 網遊網打)

毎月第二日曜日午前七時ヨリ十時迄に出發午後四時歸着
右五百名ヲ限リ募集ス希望者ハ平町一丁目松崎自動車部迄デ申込アレ

松崎自動車内 **漁遊會事務所**

靴とカバン 革製具類

特に學生靴の耐久力を御使用の上御試し下さい

平町極道小路(役場前) **福山靴店**

最新ラヂオ廉價販賣
◇ アンテナ及びアースは入りませぬ
(高尚優美旅行用ともなる高聲にして雑音なし)

機械スーパ一六球ヘトロタイン充電機付
持参して御聞かせの上一時拂ひは月賦等御相談致します

時計商 **大谷時計店**
平町三丁目(電話四一九番)

階上食堂
同伴席ノ設備アリ
平町紺屋町(縣社通り) 美味評判 **イワキ食堂** オの部電話四六〇番

看護婦派出所 の求めに應ず
平町南町 電話三〇七番

平看護婦會 電話三〇七番

高久病院
院長 醫學士 高久 忠
副院長 新瀉醫學士 赤羽 清
藥局長 藥劑師 佐竹 菊雄
平町田町 電話五二三番

原齒科醫院
平町土橋通り 電話三一三番

耳鼻咽喉科專門 大和田醫院 平南町(電話一七〇番)

吉田屋 染工場
福島縣平町五丁目 (電話五五八番) (振替 仙台五三二八番)

加藤營業所
白銀町 電話三二番

神戶海上運送保險株式會社 東洋海上火災保險株式會社 共保生命保險株式會社 平代理店

貨家部案内
平町仲間町 勤人向 一〇、〇〇〇 六、六三、ノ三間
同 柳町 同 七、五〇〇 六、六、ノ二間
同 同 同 六、〇〇〇 六、四半、ノ二間
同 同 同 八、〇〇〇 六、六、ノ三間
同 同 同 八、〇〇〇 六、六、ノ三間
同 同 同 八、五〇〇 六、六、ノ六間
同 同 同 四間其他風呂場物置附

炭礦合併は……可能性が充分

總べては時期の問題と 各方面一般の觀測

近來盛んに論議されつゝある常警炭礦の合併計畫は右實現後に於て諸種の利益が蓋し少からざるといふ漠然たる豫想がついてゐるものゝ問題が可なり大きいだけに俄にその

仲展を

見す且將來の歸結如何についても目下の處邊に豫測をゆるさざるものもある一面に於ては元來可能性を多分に有してゐる問題なので繋つて時機の問題に屬し餘り遠からぬ將來に於て實現さるゝものと觀測してゐる向きも少なくない、即ち之れを常警

炭界の

雙壁たる磐炭入山兩社の上に就て見るに磐城は坑内の危険率その

磐炭入山は一ヶ月分

今上半期各社ボーナス豫想

近來事故續きであつた磐城炭礦今期の賞與は會社近來の財政上或は全然支給されぬではないかと懸念するも

滿更無理

でないといふ觀られてゐたが會社の損害は損害として年中行事重要な盆の前後に在つて全然之が支給なき場合に於ては磐炭社員は体面維持上差支る様な始末なので大体一ヶ月分平均位の處で近く支給される模様である因に同社現

社員雇員 備人級を

在の役員は 合内郷小野田に於て四百九十九名茨城百三十餘名計約六百三十名俸給月額四萬五千圓であるが入山でも百三十名の役員に對し殆ど同率の支給あるものと觀られてゐる

豊岡鯛の大漁

石城郡豊岡濱の大漁網は昨日大鯛五千貫の大漁にて頗る活

賊、鋸を揮つて 刑事に打ち掛る

八幡境内にて逮捕

況を呈し平町の各魚店々頭は鯛に依つて埋められ相場も十五六割の安價を示し

五人殺しの 豫審終結近し

石城郡内郷村大字白水大越

白水 石城郡内郷村大字白水大越五平方一家五人殺しの犯人五平叔父同所鈴木治八郎(四七)は去る四月十五日平刑務所に收監以來遠藤豫審判事の取調を受けてゐるが治八郎は當初警察署に於ける

平局の努力

一萬五千の新加入契約

平郵便局では簡易保險責任勧誘數二萬七千口に對し二十四日迄に一萬五千の新加入契約を見たが八月下旬迄には責任口數の勧誘を終る豫定で同局員田村局長以下百五十餘名は目下大奮となり努力中である

鯉漁船坐礁

大漁の歸りに

宮城縣石巻町三浦一所有六六トンの發動漁船に船長木村要助外漁夫六名乗組

辭表を提出

責を負つて

常警炭礦の王國磐城炭礦ではさきに石城郡内郷村の山本礦業所職員六十五名の職首を行つたが所長水室清氏は災害並に本年度上半期無配當に對する責を負ひ辭表を提出本月末日限りで退職に内定したため後任所長の如何によつては五百餘名の職員間に大異動を免れぬらしい

兎の耳

ねすみ・赤坊殺

ねすみ・赤坊殺 郡豊田村高楠岡原健三郎の夫婦が二十六日田植に夢中になつてゐるうち水車小屋に寝かして置いた本年三月生れの長男勝美が多數の鼠のため腕や手の平をかまれ多量の出血と鼠毒のため生命危篤に陥つてゐるのを發見した



毒のゼリー

成熟した大きな苺を選んで鹽水に五分間位浸しておきます。そしてよく洗つてざるに揚げ水氣を切り、へたを取り、次に布巾に包んで

紗の男羽織

無地無品新 地はすは地無鐵 紋小の紗は品新

猛夏の男羽織は紗が中心であるが絹も使はれる相變らぬ黒鐵無地が一番を受けてゐるが數寄者には鼠地や赤味の無い黒茶が一部に迎へられる純黒となる紋のあるもので

小紋を

應用した

ので白地を無地に染めた上に小紋を押し付たもので茶無地の上に黒色で小紋を押し付たり鼠地に黒を押し付たりしてゐるが、小紋が流手でない變つてゐて目立たぬものがよいのであるが、ちよつと變つた趣味だから唯にも似合ふとはいへぬがイヤ向

濫好み

には喜ばれ

さうなものの小紋が小紋に見えないで織物に見える程度に現したものが濫いといはれてゐる。紗の羽織の縫ひ紋も品のあるものであるが併しスガ縫ひ等の冬物に見

立派

はいね紗

は強捻糸の本絹で織つたものだからシャリツとして強捻のために麻のやうに見えてツヤが無く底光りのしてゐるところに深味と値打ちがあるが、捻のアマイほどテラ光りがあるこのテラつ

薄物の

代用のやう

に愛好され變り種を好む數寄者の一部に無地のスキヤの夏羽織を着たことがあつたが、どうも着尺物じみて

夏着て

縫ひ直せぬ

羽織にはシツクリはまつて見えぬのと縫ひなをしがむづかしいから段々忘れられたやうだ、近頃は總てが經濟的に考へられ

應用が

あるが見た

目には質によく出来てゐても着てからグラケたりボタ

(龜田屋吳服店談)